



《プルーン・すもも》

◆スモモヒメシンクイ対策について

樹上・樹冠下の被害果を処分する。また、薬剤散布を徹底する。

◆第12回薬剤散布について(お盆前後に収穫になる品種以降)

1. 散布時期:7月22日(月)~26日(金) 実際散布日記入 月 日
2. 調合量:水1000 当り ※混用順に記載。 ※収穫中の品種に飛散しないよう十分注意する。

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
(展着剤まくぴか)	10mℓ	—	—
ベルコートフロアブル	50mℓ	灰星病	3日
Ⓜ イカズチWDG	66g	シンクイムシ類	前日

3. 散布量:10a当り⇒400ℓ
4. 留意事項
①収穫直前の品種は、定期薬剤散布に代えて別記の収穫前薬剤散布を行う。
②「収穫前日まで」とは収穫する24時間前までに散布が終了することを意味する。
③果実の汚れを防ぐため、なるべく細霧にして、すぐに乾く時間帯で散布する。
④通常、この時期からは農薬による汚れや果粉溶脱を軽減するため展着剤を使用しないが、シンクイムシ類・灰星病の発生が多く、薬液をしっかりと付着させたい場合は、展着剤を「まくぴか」10,000倍を使用すると、均一に付着しやすくなり、乾きが早まるため、液だまりが減少する。
⑤ベルコートフロアブルは収穫3日前までなので、収穫中・収穫直前の品種にかからないようにする。
⑥ハダニ類の発生が心配される場合はダニオーテフロアブル 2,000倍(水1000 当り 50mℓ・収穫前日まで・年間1回まで)を加用散布する。
⑦アメリカシロヒトリは巣網のうちに捕殺するか、焼却処理する。

◆収穫前薬剤散布について ※収穫直前の品種Iに行く。

収穫前の降雨によっては、腐敗果の発生が増加するため、特に収穫前の防除を徹底する。

1. 散布時期:収穫開始2日前 実際散布日記入 月 日
2. 調合量:水1000 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
オンリーワンフロアブル	50mℓ	灰星病	前日まで
(Ⓜスカウトフロアブル)	50mℓ	シンクイムシ類	前日まで

3. 散布量:10a当り⇒350ℓ
4. 留意事項
①「収穫前日まで」となっている農薬は、収穫24時間前までに散布が終了する事を意味する。
②シンクイムシ類の発生が心配される園は、スカウトフロアブル 2,000倍を加用散布する。スカウトフロアブルに代えて、ディアナWDG5,000倍(水1000 当り 20g/収穫前日)を使用してもよい。

◆着色難品種の着色向上収穫前管理について

着色難な品種は、しっかりと着色管理(葉摘み・反射シート)を行う。

《 な し 》

◆第10回薬剤散布について

1. 散布時期:7月24日(水)~28(日) 実際散布日記入 月 日
2. 調 合 量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	10mℓ	—	—
キノンドー顆粒水和剤	100g	黒斑病・輪紋病	3日
アーデントフロアブル	50mℓ	シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日

3. 散 布 量:10a当り⇒棚栽培450ℓ/立木栽培500ℓ 以上
4. 留意事項
①アーデントフロアブルに代えて、イカズチWDG1,500倍(水100ℓ当り66g)を使用してもよい。

《 オウトウ 》

◆双子果について

本年は、「双子果」の発生が非常に多かった。

発生要因は、前年の夏季(花芽分化期)が高温で経過したときに多発し、佐藤錦は特に発生が多い品種。昨年、記録的な高温が続いたため、本年の発生につながっている。

現状の気候では、今後も発生が多いと考えられ、できる対策を実施する。

1. 雨除け施設の被覆資材を、収穫後早期に剥ぎ、園内の温度上昇を防ぐ。
2. かん水をし、園内の温度を下げる。また、敷ワラ等し、土壌乾燥を防ぐ。

《栽培に関する営農技術員への問合せ》

徳武(篠ノ井西部):080-1202-0260/外谷(篠ノ井東部):080-8048-6602

※篠ノ井西部は、当面、寺澤・松坂・佐藤・外谷も対応致します。

佐藤(信更):090-7179-9866/伊藤(松代・情報担当):080-2239-6816

松橋(川中島):090-4816-6297/根津(更北)080-1203-8576

松澤(若穂)080-1191-5166/寺澤(全域・情報担当・編集):080-1188-5229

吉澤(全域・情報監修):090-2543-0365

栽培に関する電話対応は、担当地区関係なく対応できます。園地指導や地区組織関係のお問い合わせは、地区担当までお願い致します。

○果樹のアドバイザー(流通センター長兼務)松坂(篠ノ井西部)080-1188-4131

《栽培・販売に関する問合せ》各流通センター・共選所/営農販売部(本所):292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部農業資材課:299-3311